

# 井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

## 読者の伝言板

敬称略

● 毎回広報あきたに旧雄和町の話題が掲載されており、楽しみにしております。小さい地域のことは記事にはならないのかなあと一思いと、これまでの「広報ゆうわ」がなくなつて寂しい思いましたので、よけいにそう思います(田村千枝 65歳・雄和)

● 四月に入つて、ようやく春の足音が各地で聞かれるようになりました。春の便りであるふきのとう、さしどりの芽などの食材を口にしながら春の喜びを感じている今日このごろです。広報の「連休はこれ決まり」を楽しく読ませていただきました。わが家の連休は、家庭菜園の手入れや日帰りでの温泉、雄和の華の里、ザ・ブーンなどに出かけたいと思っております(渡辺和子 60歳・牛島)

● お天気に誘われ、待望の「仁井田ふきっこロード」を通つてみました。全長六十五キロの地下道は楽しめました。「仁井田郷土かるた」の立派さには驚きでした。子どもた

ちの明るい笑い声には自然にわたしも顔がほころびました(地主京子 77歳・御野場)

● 都市部を中心に女子高生の間で方言がブームを呼んでいるようです。携帯メールで使用方法を交換したり、インターネットで「方言辞典」を検索したり、テレビでも放映されてきました。秋田弁もその中に入っていました！でも、地元では秋田弁を使う子どもって見かけなくなりました。市内の小中高生は「んだ」とか「ままくう」とか理解はしても、使っていないのでは？ 学校での使用は禁止されているのかな。先生も使えなかったりして…(小野愛子 44歳・牛島)

● 秋田ももうすっかり春になり、心もウキウキしています。ふきのとうとアザミの天ぷらを食べたら、とてもおいしかったです。秋田は山菜いっぱい。でも、山の雪が解けるのはまだまだかもね(鈴木竜典 26歳・河辺)

● 子どもたちのとおっておきの

## 地域の話 おしえて!!

### 旭北地区コミュニティセンター開設1周年 まちに笑顔が増えました!

4月9日、旭北地区コミュニティセンターの開設1周年を記念した催しが行われました。

交通安全週間になんで行われたパレードでは、県警音楽隊を先頭に、幼稚園児のミニ警察官やバトントワリング、交通安全協会などの人たちが、道路愛称募集で「茶町通り」と名付けられたコミセン前の通りを元気に行進しました。

市内初の「市民協働型コミセン」

としてオープンし早1年。旭北コミセン管理運営委員会の中谷久之助会長は、「わたしたちもこのまちの住人。ここに住んでいる人たちと同じ目線であることを大事にしてきました。まちに笑顔が増え、ずいぶん明るくなりましたよ」と話します。

コミセンをとおして広がる地域のつながり。まちのお休み処は今日も笑顔いっぱいです。



道路愛称サインポールの除幕式



茶町通りを元気に行進!



# おしゃべりかわらばん



旭北地区コミセン交通安全パレードに参加した若松のどかちゃん(5歳)

## かっこいいでしょ？

きょうはおまわりさんの服を着ました。かっこいいでしょ？ パレードで歩いているとき、ちょっとさむかったけど、元気に行進しました。楽しかったよ。わたしもちゃんと交通安全に気をつけます！

## サークル活動も新鮮に

仕舞(能)を簡略化したもので利用する和室も新しくなり、畳の匂いや、床の間のすてきな花に気分も一新。すばらしいコミセンを作っていただいたことに応えて、これからもサークル活動に励みたいと思います。



榎山地区コミセンの完成祝賀会に参加した谷口やよいさん(牛島)



秋田わか杉国体888日前イベントに参加した石井菜南(かな)ちゃん(5歳)

## ちびっこスギッチ登場！

緑の帽子と服で、「ちびっこスギッチ」に変身！ スギッチのお手伝いをして、みんなで“こくたい”のスポーツを紹介したよ。わたしは体操の担当。大好きなスギッチ、“こくたい”までがんばってね！

## 海に落ちた人を救助

4月13日、セリオンの岸壁で海に転落した人を助けました。溺れた人を助けるのは当然のこと。すぐに119番通報しました。いざというとき、周りに声をかけて、助けを増やすことが大事だと思います。



消防協力者表彰を受けた鎌田忠雄さん(左・太平)と安宅政さん(湯上市)

## 高尾山で春見つけた！

雄和の高尾山を2時間歩いて、春の花を観察しました。一面に咲いたカタクリがすごかったですね。近くに住んでいても、これほどとは知りませんでした。みんなに見せてあげたい！ いい汗をかいて、山に元気をもらいました。



高尾山の自然観察会に参加した鈴木絹子さん(左・雄和)と深井豊子さん(雄和)



かんぱ〜い！（太平川観桜会で）

姿を残しておこうと、しよっちゅうビデオやデジカメを構えています。でも、撮ることに夢中になり、自分の目で子どもたちの素敵な表情を見ないことに気づきました。フラインダー越しではなく、直接目に焼き付けることも忘れてはいけないですね(二宮ルミ 30歳・山王)

消防士さんがロードワークを始めると、「春だなあ」と実感。お天気が続き、もうそろそろかなと楽しみにしています。花見&“消防士”見が、わたしと二歳の息子の春の恒例行事です(石山なおこ 27歳・山王)

## 係からひとこと

この四月、市役所生活七年目にして初の人事異動で、広報課にやってきました。職場環境ががらりと変わり、まるで入所一年目の新人気分です。さて、そんな新人の私は、一人前の広報マンをめざしてまずは形からと新しいカメラを購入しました。それを持って取材に行くと、前の福祉の仕事で知り合った方々に会うことも多く、立派なカメラを持った私にびっくりします。「おお、似合うねが〜」とほめ(おだて)られることもあり、とても照れるのですが、カメラが立派でも撮った写真はというと…。

早く、この「広報あきた」の表紙を飾るくらいの写真を撮れるようになるうと、がんばる毎日です。(直樹)

## 広報クイズ



外旭川幼稚園の春のお茶会

## 4月16日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「上下水道」局、問2が仁井田「ふきっこ」ロードでした。全問正解193通(応募総数199通)の中から、相澤ミサ子さん(土崎港)、相場仁美さん(仁井田)、大井上恵理子さん(土崎港)、春日清子さん(寺内)、加藤サヨ子さん(八橋)、唐津谷洋子さん(将軍野)、斎藤登志さん(八橋)、斉藤ハルさん(新屋)、長谷川みつ子さん(新屋)、森本真紀子さん(牛島)の10人のかたに図書カードをお送りします。

5月の広報クイズは最終面です。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)